

労働力調査（基本集計）

2019年（令和元年）7～9月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6750万人と、前年同期に比べ64万人の増加
- ・ 完全失業者数は161万人と、前年同期に比べ7万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.3%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北陸、東海、近畿、中国及び沖縄は増加、北関東・甲信は同数、東北、四国及び九州は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東及び近畿は減少、北陸、中国、四国及び沖縄は同数、北関東・甲信、東海及び九州は増加
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道 …… 2.1% (0.7ポイント低下)	近 畿 …… 2.5% (0.5ポイント低下)
東 北 …… 2.4% (0.1 ")	中 国 …… 2.3% (0.1 ")
南関東 …… 2.3% (0.2 ")	四 国 …… 2.4% (0.2ポイント上昇)
北関東・甲信 …… 2.2% (0.1ポイント上昇)	九 州 …… 2.7% (0.2 ")
北 陸 …… 1.8% (前年同期と同率)	沖 縄 …… 2.9% (0.4ポイント低下)
東 海 …… 2.1% (0.2ポイント上昇)	

図 1 地域別完全失業率

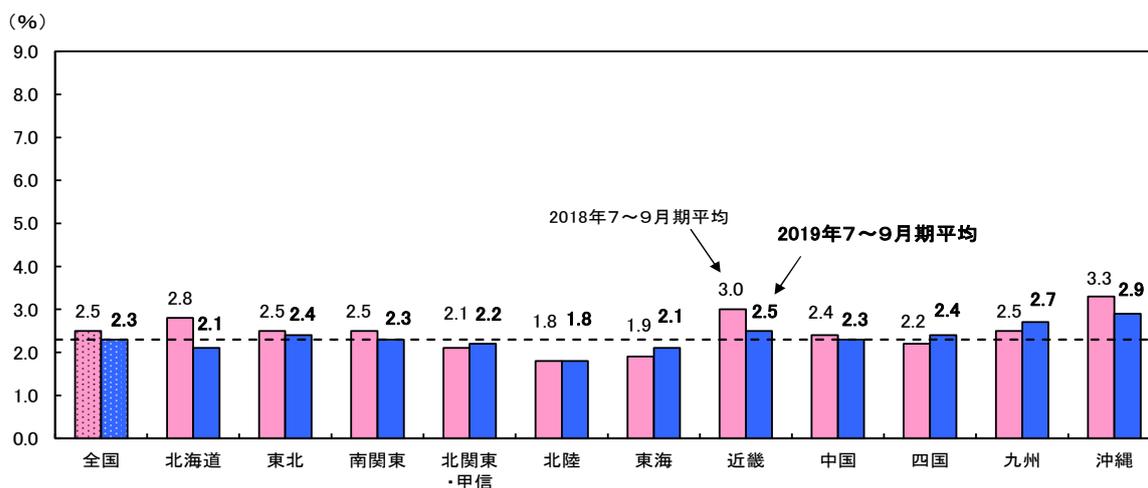


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

